

宮寺氏館跡(入間市)

築城年代:平安時代末期、築城者:宮寺家平

ここは西勝院/南側から見たところ



山門の左手に標柱が立っている



「市指定文化財 宮寺氏館跡」と記されている



本堂/このエリアが宮寺氏館の主郭と云う



「宮寺山」と記された扁額



振り返って山門方向を見たところ



さまざまな石造物があった





正面は閻魔堂/この建物の右手(南側)から裏側(東側)に土塁が残っている/右手に説明坂が立っている/西側から見たところ



みやでらしやかたあと 宮寺氏館跡

市指定史跡

指定年月日 昭和五十九年七月二十五日

平安時代末に武蔵七党のひとつである村山党の村山家平が、宮寺の領主となつて宮寺五郎家平と称し、この地に居館を構えた。現在西勝院のある場所がこの宮寺氏館跡である。

村山党は、桓武天皇九代の孫で今から約九百年前、村山(東京都武蔵村山市)に住み着いた村山(平)頼任を祖とする。頼任の子頼家には四子があり、家平は次男である。宮寺氏の菩提寺西勝院は、元は宮寺の大御堂の地にあつたが、慶長一〇年(一六〇五)に現在の地に移転したと伝わっている。

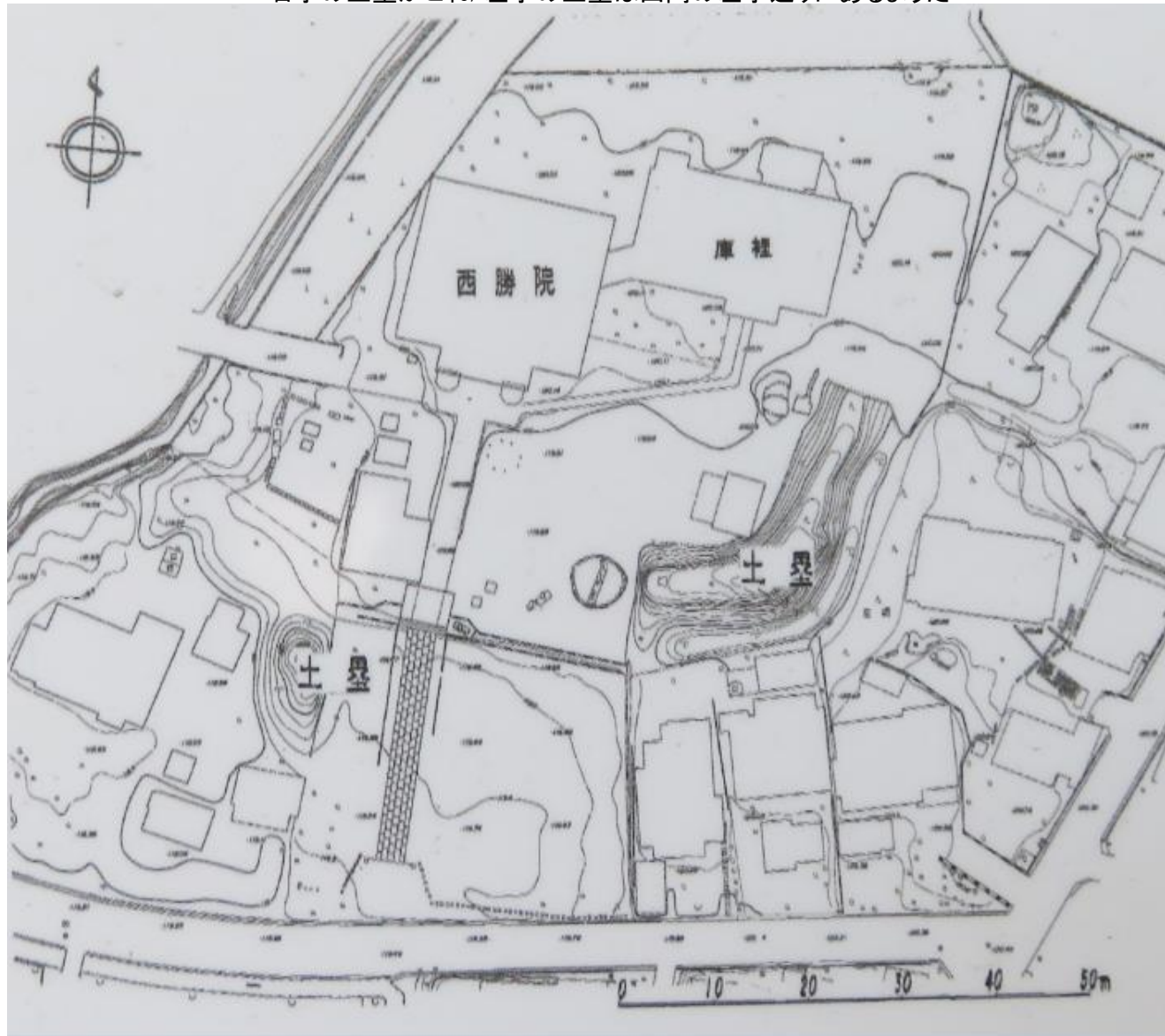


現在では、この居館跡の全体遺構を見ることはできないが、西勝院境内の南側に東側に土塁と空堀、また山門手前左側に土塁の一部が見られる。さらに西側を流れる水路が館の水堀であつたと推測され、その内側には土塁が構築されていたと考えられる。この水路は現在西勝院の境内を囲むように西側から北側に流れている。

平成二十九年一月三十一日

入間市教育委員会
入間市文化財保護審議委員会

右手の土塁がこれ/左手の土塁は山門の左手辺りにあるようだ



これが右手の土塁/標柱には「閻魔堂及附属一式」と記されていた



土塁の上には小祠も建っている



その土塁上で東方向を見たところ/土塁はこの先で左手に折れている



これは土塁が折れた所から、その先(北方向)を見たところ/右手は濠跡のようだ



そこで振り返って、進んで来た方向(西方向)を見たところ



これが小祠/右手は閻魔堂、左手は濠跡と思われる



その濠跡を西側から東方向に見たところ/左手が土塁



さて、山門の手前まで戻り、左手に残る土塁を見てみよう



そこで左手を見るとフェンスの向こうに土塁が見える



これはフェンス越しに南側から北方向に土塁を見たところ



反対に北側から南方向に見たところ



少し退いて見ると、こんな塩梅/境内外となっているようだ



さて、ここは境内の西側にある門/手前に排水路がある



右手(南方向)を見たところ/これが濠跡(水堀跡)らしい



振り返って北方向を見たところ



その先に進んでみる



寺域をはずれて更に北方向に続いている



振り返って見たところ



さて、ここは境内の北東側から境内方向を見たところ



手前の建物の角に標柱が、その奥に説明坂がある





これが説明坂





史跡宮手館跡



宮手館跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

石室跡

史跡宮寺館跡

桓武天皇九代の孫平頼任は、今からおおよそ九百年前、村山に住んで武蔵七党の一つである村山党の祖となった。その子孫は、枝葉のように入間郡を中心にひろがって大武士団となり、源頼朝の鎌倉幕府の成立に大きな力となったことは、広く知られているところである。

村山(平)頼任の子頼家に四子があつた。長男家綱は入間郡大井町に住んで大井氏を名のり、三男家範は入間市の金子に住んで金子氏となり、四男家継は所沢市山口に住んで山口氏となえ、そして、二男の家平は宮寺の領主となつて宮寺五郎と称して、この地に居館を構えたのである。

源頼朝、同義経の家来で、源平合戦で名高い金子十郎家忠は、宮寺五郎家平の弟家範の子である。家平の一族と思われる宮寺三郎や宮寺蔵人の名が、当時の史書に見えるから、十郎家忠らとともに活躍したのである。

すでに八百年以上も昔のことであるから、この居館跡の全体の姿を知ることがむずかしいが、西勝院境内の東部にのこる長さ約三十メートル、高さ約二メートルの土塁と空堀は、明らかに当時の遺構の一部で、さらにその土塁のつぎは、昭和二十七年ころまで、北隣の萩野家の屋敷の北側約百二十メートルにわたつてのこつていたのである。

元弘三年(西暦一三三三)に鎌倉幕府が滅びたころには、加納下野守なるものがここにいたと伝えられ、江戸時代から狩尾氏、のちに伊濃氏(猪尾)、井野尾、伊野尾とも書いた)がいたが、この間のくわしい事情はよくわかっていない。

以上宮寺館跡の概略を記して見学者の参考にするものである。

昭和五十八年九月十九日

入間市教育委員会

宮寺郷土を知る会

入間市文化財研究同好会

西勝院の閻魔堂脇にあった土塁は、更に北方向(この図では下方)に続いていたようだ



図の荻野家(左手のブロック塀の中)の塀沿いを歩いてみる/図によると、この塀沿いに土塁があったようだ



西側から荻野家にあった土塁方向を見たところ/前方の塀沿いに土塁が続いていたらしい



参考ホームページ

<http://jyokakuzukan.la.coocan.jp/011saitama/091miyadera/miyadera.html>

https://blogs.yahoo.co.jp/lunatic_rosier/45618212.html?_vsp=5a8u5a%2B65rCP6aSo6Leh77vI5YWl6ZaT5biC77vJ

<https://ckk12850.exblog.jp/11662374/>

<http://tutinosiro.blog83.fc2.com/blog-entry-1520.html>

<https://blog.goo.ne.jp/ihcirot/e/b4d24b297d99941de6ee3846d80d42d4>

<https://teione.exblog.jp/26449665/>

<https://4travel.jp/travelogue/11282570>

<http://buraritabi305.blog.fc2.com/blog-entry-113.html>

